

## 申し合わせ事項

## 1. 開門時刻及び閉門時刻について

大会期間中の開門時刻、閉門時刻は次のとおりとする。

期 日	開門時刻	閉門時刻
9 月 12 日(木)	11 時 00 分	21 時 30 分
9 月 13 日(金)	8 時 00 分	21 時 00 分
9 月 14 日(土)	8 時 00 分	20 時 30 分
9 月 15 日(日)	8 時 00 分	17 時 00 分

## 2. 代表者会議について

代表者会議は行わない。確認事項の伝達および各大学の応援・待機場所に関する事等は日本学連ホームページを通じて別途通知する。

## 3. 入退場について

(1) 大会中は、岐阜メモリアルセンター長良川陸上競技場観客席への入退場口として正面ゲートのみを利用する。

(2) 入場の際は、下記のいずれかを提示すること。

種類	自由席入場券	招待入場券	普通会員登録証	IDカード	生徒手帳(高校生、中学生)
備考	未使用であること		本人持参(コピー不可)	大会本部にて発行	生徒であることを証明できるものも可

(3) 競技場への入場は有料(1,000 円)とし、開催日当日券のみ販売する。また、チケットの払い戻しならびにチケットの再発行は行わない。

高校生以下については、生徒であることが証明できない場合のみ自由席入場券が必要となる。

(4) 2019 年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、普通会員登録証を提示の上で入場する場合は無料とする。ただし、必要事項を記入済みの登録証に限る。不携帯の場合は、入場券を購入して入場すること。

(5) 普通会員登録証を他人に貸与する、コピーをする等、不正行為による入場は認めない。不正行為を行った学生、ならびに当該学生が所属する大学に対しては、日本学連の規程に違反し、処罰の対象とする。

(6) 一度退場したのち、再び入場する場合(再入場)は、入場時に提示した入場券、登録証、IDカード、生徒手帳を再度提示すること。自由席入場券ならびに招待入場券については、入場当日のみ有効とする。紛失した場合や入場時に提示できない場合は、再購入が必要となる(競技場内に置き忘れた等の理由は認めない)。

(7) 競技場での競技が終了した競技者は、競技場南マラソンゲート(フィニッシュ付近)に設置するミックスゾーンを通過して退場する。大学待機場所・トレーナー活動場所等に戻る際は、競技場内を通行せず、必ずいったん競技場の外に出てから戻るものとする。

## 4. ポールおよびやりの輸送について

(1) ポールの事前輸送および返送については、事前に日本学連ホームページから指定様式をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、FAX にて日本学連事務局まで申し込むこと。申込期限を過ぎてからの申し込み(競技会当日を含む)は一切受け付けない。

申込期限：8 月 28 日(水)15 時【厳守のこと】

(2) やりおよびチーム荷物の事前輸送については、下記のとおりとする。

送付先：〒502-0817 岐阜市長良福光大野 2675-28 長良川陸上競技場気付 ○○大学陸上競技部○○宛 ※○○には大学名、氏名を記入

到着日：9 月 11 日(水)必着【期日指定厳守のこと】

(3) やりおよびチーム荷物等の返送または転送を希望する場合は、インフォメーション・センターにて各自で輸送の手続きを行う。その場合、荷物は必ず段ボールで包装すること。包装が完全でない荷物は、受け付けない。

## 5. 集団応援場所および待機場所について

(1) 開門時の混雑による危険を防止するため、集団応援場所および待機場所をあらかじめ指定する。希望する大学は、日本学連ホームページから指定様式をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、8 月 26 日(月)までに電子メールにて提出すること【厳守】。集団応援場所については、決定後に日本学連ホームページおよびインフォメーション・センターにて周知する。

(2) 集団応援は、競技場サイドスタンド・バックスタンドに限り認める。各大学に指定された場所で行うこと。

- (3) サンサンデッキを大学待機場所として事前に割り振るが、補助競技場内は割り振りを行わないので、各校譲り合って使用すること。
- (4) 集団応援場所・待機場所・補助競技場におけるテントの使用、ガムテープ等を使用して待機場所を区画することは禁止する。
- (5) 各大学の荷物は、必ず各日持ち帰ること。

## 6. 応援および横断幕等の掲出等について

- (1) 各競技の競技実施場所付近ならびに各種目のスタート時の応援は十分配慮すること。
- (2) 競技運営に支障をきたす応援であると主催者が判断した場合は、当該校の大会期間中のすべての応援を禁止する場合がある。
- (3) 競技場における部旗・横断幕については、各大学 1 枚に限り、バックスタンドおよびサイドスタンド上段または中段の手すりのみ掲出を認める。また、個人名が入った横断幕等の掲出は禁止する。基本的に掲出場所は自由とするが、主催者側から移動の要請等があった場合には、速やかに移動すること。また、他の大学が集団応援場所として使用している場所に横断幕を掲出した場合、当該大学から移動の要請があったときには、集団応援場所として使用している大学を優先とするので、先に横断幕を掲出していた場合でも、横断幕の移動に応じること。
- (4) **横断幕を掲出する場合には、ガムテープ等の粘着痕が残る可能性があるものは使用せず、紐等で留めること。**
- (5) 競技場内（スタンドを含む）におけるのぼり旗の掲出ならびに競技場外を含むすべての箇所におけるのぼり旗のくくり付けは禁止する。

## 7. 撮影について

- (1) 競技・運営に支障の無い範囲で、撮影禁止エリア外からの撮影を認める。ただし、競技運営上の配慮から、競技役員が声を掛けることがあるので、その場合は必ず競技役員の指示に従うこと。
- (2) 各大学の競技研究等を目的とする撮影であっても、事前申請がない場合は撮影禁止エリアからの撮影は認めない。当該エリアでの撮影を希望する場合は、必ず事前に研究撮影申請を行うこと。
- (3) 次に挙げるカメラで撮影を行う場合は、大学関係者、家族、一般来場者を問わず、必ず撮影当日に申告を行うこと。申告をしないで撮影している場合は、競技役員が声掛けをするので、撮影を直ちに中断し、速やかに手続きを行うこと。

申請が必要なカメラ：一眼レフカメラ、ミラーレスカメラ、ビデオカメラ

申請場所：インフォメーション・センター

申請時に必要なもの：撮影するカメラ、身分を証明できるもの（運転免許証、保険証等）

- (4) すべての競技者が競技に集中できるよう、撮影を行う際には以下の点に留意すること。

- ①撮影はすべて、スタンド上から行う。
- ②競技中のフラッシュを使用しての撮影は行わない。
- ③三脚を使用しての撮影は、周囲への迷惑にならないよう注意する。
- ④盗撮・透過撮影行為防止のため、競技者に迷惑のかかる恐れのあるすべての方向からの撮影・行動を禁止する。

<警戒を強める撮影方向の一例>

- ・トラック種目のスタート時：前方・後方からの撮影
- ・走高跳：正面からの撮影
- ・砲丸投：競技者正面からの撮影
- ・走幅跳・三段跳：砂場正面からの撮影

- ⑤競技とまったく関係の無い目的での撮影、身体の一部をアップしての撮影、透過撮影、その他の迷惑行為は認めない。

## 8. 開会式および閉会式について

- (1) 参加校は部旗を用意して以下のとおり集合すること。部旗を括り付けるポールは参加校が用意する。

【開会式】9月13日(金) 10時30分(予定)

集合場所 100m スタート側集合

集合時刻 10時15分

出席者 各参加校旗手1名、

前回大会男子優勝校4名(旗手1名、天皇賜盃返還者1名、優勝旗返還者1名、宣誓者1名)

前回大会女子優勝校3名(旗手1名、秩父宮妃杯返還者1名、宣誓者1名)

【閉会式】9月15日(日) 15時30分(予定)

集合場所 100m スタート側集合：北信越、東海、関西、中国四国、九州学連の各加盟校

100m フィニッシュ側集合：北海道、東北、関東学連の各加盟校

集合時刻 15 時 15 分

出席者 各参加校旗手 1 名および参加競技者

- (2) 閉会式において男女の総合優勝校の校歌演奏ならびに部旗の掲揚を行うので、総合優勝が予想される参加校は校歌入りの CD、部旗を事前に用意しておくこと。閉会式前に該当校へ校歌 CD ならびに部旗の提出について連絡をするので、連絡責任者は連絡がとれるようにしておくこと。
- (3) 開会式および閉会式に参加する際は、各校公式ジャージ等を着用し、集合後、主催者の指示に従い行動すること。
- (4) 雨天時には、開会式および閉会式の実施場所を変更する場合がありますので、主催者の指示に従うこと。

## 9. 競技場利用のマナーについて

競技場を利用するにあたって、以下の点に注意すること。

- ①メインスタンドでの場所取りや横断幕等の掲出は禁止とする。
- ②競技場の施設及び備品を破損した場合は、インフォメーション・センターに申し出る。
- ③**施設保護のため、ガムテープ等の粘着痕が残る可能性があるものは使用しない。**
- ④各校で発生したゴミは、各校が責任をもって持ち帰る。

## 10. 車両の入構について

- (1) 駐車証等は発行しないので、車で来場する場合は競技場内の有料駐車場を利用すること。
- (2) 大型バスの有料駐車場利用は可能である。詳細については、岐阜メモリアルセンターホームページを参照のこと。
- (3) 荷物の搬入のために競技場の近くまで車両を入構させることはできない。また競技場の周囲等に駐車することもできない。

## 11. ソーシャルメディアについて

本大会では、下記のハッシュタグを利用して情報を発信している。

大会ハッシュタグ	日本学連ハッシュタグ	公式 Twitter	公式 Instagram
#88 日本 IC	#青春に駆ける	@iuauj	@iuauj

※ソーシャルメディアの使用上の注意を遵守の上、ぜひご活用いただきたい。

## 12. 個人情報の取り扱いについて

大会の映像、写真、記事および個人記録等は、主催者および主催者が承認した第三者が大会運営、宣伝等の目的で、大会プログラムやポスター等の宣伝材料、テレビやラジオ、新聞、雑誌、インターネット等の媒体に掲載することがある。

## 13. アンチ・ドーピングに関する啓発活動について

大会第 2 日から第 4 日に、アンチ・ドーピングに関する情報提供を行うブースをインフォメーション・センター付近に設置する。

※参加校の学生(競技者、トレーナー、マネージャー、等)および指導者におかれては、ぜひご活用いただきたい。

## 14. その他

- (1) 記録証明書の発行を希望する場合は、インフォメーション・センターに申し出ること。
- (2) 本大会男女 10000m は、11 月 17 日(日)に開催される Zevenheuvelenloop 15km ロードレース(オランダ/ナイメーヘン)派遣選手選考および秩父宮賜杯第 51 回全日本大学駅伝対校選手権大会日本学連選抜チーム選手選考の対象レースとする。
- (3) 申し合わせ事項は、大会期間中を含め変更する可能性もある。その場合は、変更箇所をインフォメーション・センターに掲示し、あわせて日本学連ホームページに掲載するので、各自で確認のこと。
- (4) トラックサーフェスならびに芝生保護の観点から、トラック、フィールド内にスポーツドリンクをはじめとする糖分入り飲料水を持ち込む場合は、こぼさないよう十分注意すること。
- (5) 長距離種目における給水は水とする。

- (6) 熱中症予防等、各自体調管理には十分注意すること。競技者（特に長距離選手）においては、競技前に電解質や糖分等を十分に摂取しておくこと。